

①－ 2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療事務・医療秘書学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1751 単位時間/単位	1,182 時間	444 時間	125 時間	0 時間	0 時間
			1751 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		26人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

医療事務（医科、歯科、介護、調剤）だけでなく医療秘書（医師事務作業補助）等、医療機関の事務業務を総合的に学び、医師や病院を支える人材を養成する。また、接遇マナー、電子カルテ・レセプトコンピュータの授業や充実した実習等により、即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。

1年次：基礎的な知識・技術の習得、2年次：現場で必要な実践的技術の習得

成績評価の基準・方法

（概要）

学生が履修した授業科目の成績の評価及びグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「GP」という。）は、下記の表のとおりとする。

【表】

	評価	得点	GP
A	基準を超えて優秀である	80点以上	3.0
B	基準に十分達している	70～79点	2.0
C	単位を認める最低限の基準に達している	60～69点	1.0
D	基準を下回っている（不合格）	59点以下	0.0

（GPAの算出）

GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{時間数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総時間数}}$$

卒業・進級の認定基準

（概要）

（1）進級の要件

ア 授業科目の修得（単位の修得）の基準

未修得授業科目が2科目以内であること。

イ 欠席日数（公欠を除く）が出席すべき日数の3分の1を超えていないこと。

ウ 特別な事情を除き学費を完納していること。

(2) 卒業の要件

- ア 所定の修業年限以上在籍していること。
- イ 教育課程に定める必履修授業科目を全て修得（単位を修得）し、全課程を修了していること。
- ウ 欠席日数（公欠を除く）が出席すべき日数の3分の1を超えていないこと。
- エ 学費を完納していること。
- オ 下記に定める検定を取得していること。

必取得検定（2種類）	選択取得検定（3種類）
① 医科医療事務管理士技能認定試験 ② 歯科医療事務管理士技能認定試験 ③ 調剤事務管理士技能認定試験 ④ 介護事務管理士技能認定試験 ⑤ 診療報酬請求事務能力認定試験 上記①の検定及び②～⑤の検定の内1種類とする。	左記以外の検定の内3種類とする。

必取得検定の一部が取得困難な者に、当該必取得検定の取得免除措置をとることができる。

学修支援等

(概要)

- ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。
- ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。
- ・就職支援部と協力した就職指導。
- ・個別面談、保護者面談で学生の状況を把握。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	人 (%)	6人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 医療、福祉、情報通信			
(就職指導内容) 医療関係（病院、調剤薬局等）、履歴書指導、面接指導、筆記試験対策			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験 4名合格、 医科医療事務管理士技能認定試験 14名合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5%
(中途退学の主な理由) 進路変更によるもの。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人ガイダンス、保護者面談		